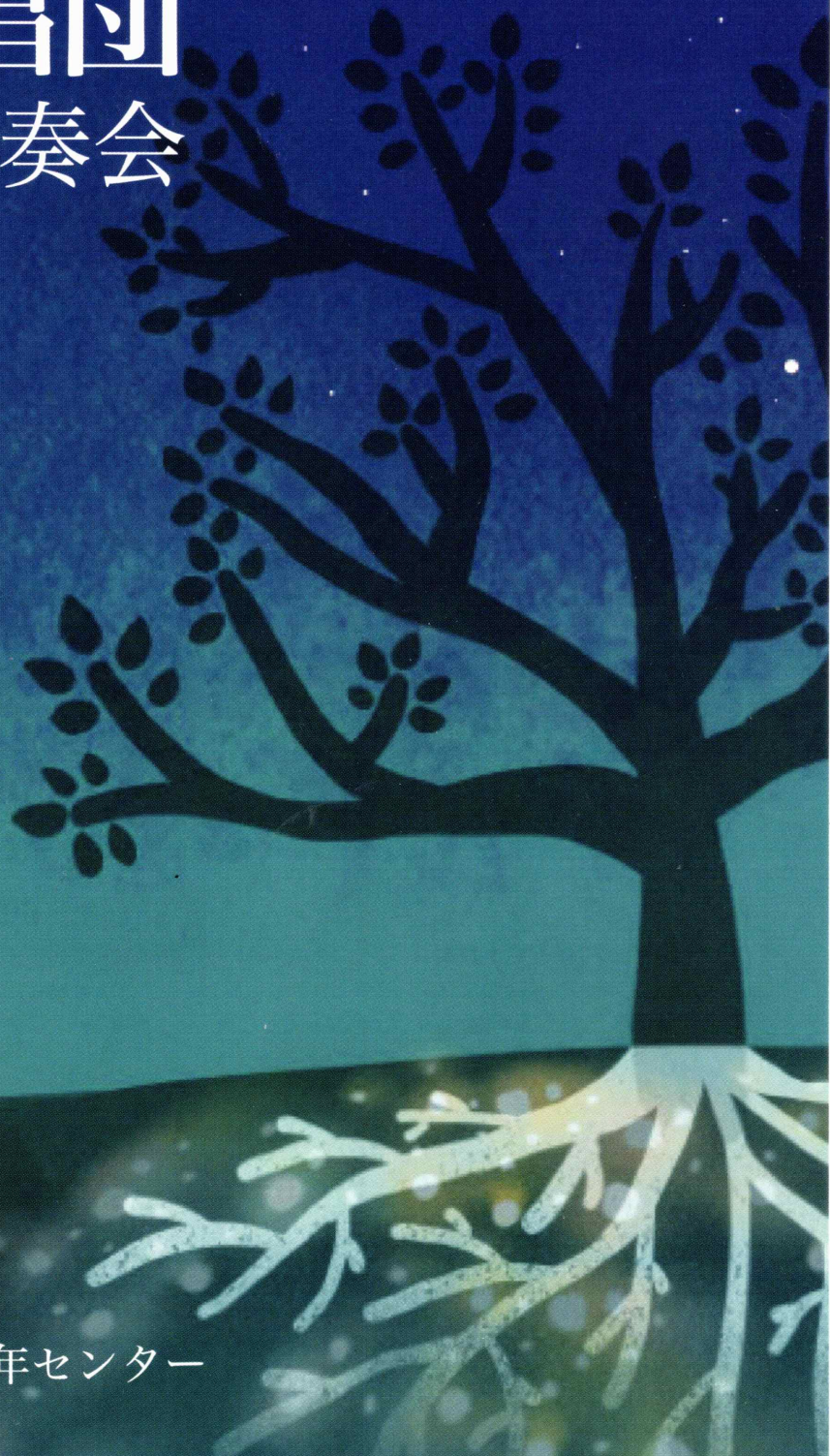




南漣会合唱団 第23回定期演奏会



大阪府立男女共同参画・青少年センター
(ドーンセンター) 7Fホール

2024年11月23日(勤労感謝の日)

開場:午後1時15分 開演:午後2時



団長挨拶

本日はご多用の中、南漣会合唱団第23回定期演奏会にご来場賜り、厚く御礼申し上げます。
 コロナ禍も工夫しながら乗り越え、隔年開催の演奏会を迎えられたことを、私たちは誇りに思います。
 2022年の第22回定期演奏会以来、やむなく歌い続けること叶わなくなった団員幾人かを見送りましたが、新たな仲間も迎えることができました。
 私たちが歌い続けるその底には、団員それぞれの歌いたい“心”があります。今回第2、第4ステージでは、若者の恋心を歌います。また第3ステージでは、本物の若者たちが、これからもずっと歌い続けるであろう『心の四季』を歌います。どうぞ歌い手の“心”を察しながら、お楽しみください。
 さて、2026年には私ども合唱団の母体でもあります、大阪公立大学グリークラブが創立100周年を迎えます。創立の1926年（大正15年）前後は、全国の高等教育機関でさまざまなサークル活動が芽吹いた時期で、とりわけ男声合唱は戦後まで長く活動が続ききました。
 すでに役目を終えてアカペラサークルなどに移って、男声合唱サークルが無くなった大学も多い中、創立100周年を迎えられることは幸せです。これからも、何卒ご支援くださいますよう、お願い申し上げます。

南漣会合唱団団長 扇田 豊

グリークラブ同窓会長挨拶

南漣会は今日の演奏会を主催する南漣会合唱団とルーツを一にしています。昭和15年（1940年）に、大阪市立高等商業高校・大阪商科大学グリークラブのOBが現役学生部員と一緒に演奏会を開催した際にOB組織を「南漣会」と命名しました。
 その後戦中・戦後の混乱を経て昭和54年（1979年）に、南漣会を母体として継続的に男声合唱の演奏活動をする「南漣会合唱団」が再編され、「南漣会」はOB同士の親睦と現役グリークラブの支援を中心に活動を続けております。
 今日はその現役グリークラブ諸君が参加する学生ステージに合唱団に所属していない南漣会のメンバーも一緒に立つことでこの演奏会にも加わることが出来、このうえない喜びを感じています。
 現役グリークラブは2026年に創部100周年を迎えます。大学名は変われどもそのDNAは連綿と受け継がれ今日に至っています。私達南漣会はその歴史を作ってきたメンバーの集まりとして「その瞬間」を大いに盛り上げていきたいと考えており、今日の演奏会もそれに向けた大きな一歩となることを願っています。

南漣会会長 田中 宏和

＝演奏プログラム＝

《ステージ1》 南漕会合唱団

～男声合唱組曲『僕らの愛、あなたの夢』（栗原 寛 作詞 大藤 史 作曲 森田 花央里 編曲）
指揮：海谷 叔伸 ピアノ：石幸 千照

1. 「しあわせのために」
2. 「約束の空」
3. 「夜の海の円舞曲」
4. 「僕らの愛、あなたの夢」

《ステージ2》 南漕会合唱団

～男声合唱アルバム『九ちゃんの歌ったうた』（横山 潤子 編曲）
指揮：宮内 泰 ピアノ：石幸 千照

1. 「上を向いて歩こう」（永 六輔 作詞 中村 八大 作曲）
2. 「明日があるさ」（青島 幸男 作詞 中村 八大 作曲）
3. 「ともだち」（永 六輔 作詞 いずみ たく 作曲）
4. 「見上げてごらん夜の星を」（永 六輔 作詞 いずみ たく 作曲）
5. 「心の瞳」（荒木 とよひさ 作詞 三木 たかし 作曲）

＝休憩(20分)＝

《ステージ3》 大阪公立大学現役学生と有志による演奏

～混声合唱組曲『心の四季』（吉野 弘 作詞 高田 三郎 作曲）
指揮：日吉 健人 ピアノ：小谷 朋子

1. 「風が」
2. 「みずすまし」
3. 「流れ」
4. 「山が」
5. 「愛そして風」
6. 「雪の日に」
7. 「真昼の星」

《ステージ4》 南漕会合唱団

～男声合唱組曲『終わりのない歌』（銀色 夏生 作詞 上田 真樹 作曲）
指揮：海谷 叔伸 ピアノ：石幸 千照

1. 「光よ そして緑」
2. 「月の夜」
3. 「強い感情が僕を襲った」
4. 「終わりのない歌」
5. 「君のそばで会おう」

ステージ1

南澤会合唱団～男声合唱組曲『僕的愛、あなたの夢』～

作曲者の大藤史さんは仲間由紀恵さんや乃木坂46などに楽曲を提供するシンガーソングライターです。作詞者の栗原寛さんは合唱指揮者でもあり歌人で、栗原さんの詩には、旧弊なジェンダーのあり方への問題意識を提示する作品があると言われています。この二人の男性合唱との出会いが、この曲誕生の経緯だそうです。

これらの曲を、作曲者でありジャズピアニストでもある森田花央里さんが編曲して出来上がったのが、男声合唱組曲『僕的愛、あなたの夢』であり、男声合唱曲としては珍しいポップス調のラブソングです。「歌でしか言えないこと、歌だからこそ伝わること、合唱という、人と人とがつながる歌」が、さらにたくさんの人との出会いを呼ぶことを作詞者は願っています。

1. 「しわせのために」

恋の始まり。流れるような「三連符」の甘いメロディで、二人の想いを歌うラブソングです。

2. 「約束の空」

ジャズの要素が加わり、特異のリズムとスキヤットで始まるミステリアスな曲です。列車は、遠くはるかな空に仄（ほの）かに光る約束（希望）に向かって走ります。

3. 「夜の海の円舞曲」

低音部の甘い歌声で始まる少しメランコリー（物憂げ）な曲です。ワルツのメロディに乗って、もう、もどらない時間の向こうにある、昔の淡い恋の思い出が切なく歌われます。

4. 「僕的愛、あなたの夢」

差し出した手を、握り返された時の感動は何時までも忘れられないものです。二人の間に育まれた愛の明日が示されているようです。

[文責 海谷 叔伸]

ステージ2

南澤会合唱団～『九ちゃんの歌ったうた』～

1. 上を向いて歩こう

坂本九はリサイタルの2時間ほど前に初めて譜面を渡され、ぶっつけ本番で初披露した。その際、譜面では4ビートなのだが、坂本はそれを8ビートで大胆にアレンジして歌った。世界中で歌われ、「SUKIYAKI」ソングとして、全米でも第一位の大ヒットをした。

2. 明日があるさ

日本テレビで放送された坂本主演のバラエティ番組『明日があるさ』『夢をそだてよう』の主題歌である。作詞は青島幸男、作曲・編曲は中村八大。自分に自信が持てず、意中の女性に恋心を打ち明けられないにもかかわらず、前向きに日々を過ごす男子学生の思いをコミカルに表現している。

3. ともだち

「ともだち」は、1965年に森繁久彌と伴淳三郎が小児麻痺に苦しむ少年・少女たちを救おうと、手を携えて結成した芸能人チャリティー団体『あゆみの箱』のテーマソングとして発表されたものである。

4. 見上げてごらん夜の星を

1960年に永六輔といずみたくが制作・公演した同名ミュージカルの劇中主題歌である。坂本九はミュージカルの再演と同名映画でも夜学生を主演し、地方から東京へ集団就職し定時制高校に通っていた生徒たちは、この名曲に励まされたという。

5. 心の瞳

坂本九が、日航機の事故で亡くなる数か月前、九ちゃんの妻である柏木由紀子さんの言葉によると、彼が帰ったとき「ユッコ、今度の曲すごくいい曲だよ。僕たちの曲だよ。ユッコが聞いたら泣くよ!」と言って、デモテープを聞かせたそうだ。

[文責 宮内泰]

ステージ3

大阪公立大学現役学生と有志による演奏～混声合唱組曲『心の四季』～

人生における心象風景を自然の移ろいに投影し、ことばにする作品である。男声合唱版の解説では、「平易で優しい音楽の中に実への深い洞察があり、複雑で厳しく奥深い実人生をそこに写し出している。」と述べられている。

1. 「風が」

大変有名な曲ではあるが、組曲の1曲として演奏する場合は少し違った表情になるだろう。

2. 「みずすまし」

ほとんど見るこののできないミズスマシ類は、1980年代ごろまでは比較的普通に日本全国で見られていた。ありふれた昆虫だったのだろうか。

3. 「流れ」

おごそかに流れゆく形のない水は、淀むことはあれど完全に止まることはない。6拍子ではなく12拍子であるから、その大きなフレーズを大切に演奏したい。

4. 「山が」

個人的にもっとも歌いやすい曲。たいへん音も気分も乗りやすい。この曲を歌うときには広い視野をもちたい。

5. 「愛そして風」

表情ゆたかな旋律からは辛さや哀しさだけではなく、どこか明るい光を求めるような部分も見受けられる。

6. 「雪の日に」

山形出身の作者らしい雪の感じ方。「おさえきれない人間の精神のように、はげしく、いつまでもいつまでもふりつづける」そうだ。

7. 「真昼の星」

青空の上には目立たなくとも無数の星が存在する。自らの使命をひたすらに全うしようという精神はこれまでの葛藤を克服し、整理がついたというべきものであろう。

ステージ4

南澤会合唱団～男声合唱組曲『終わりのない歌』～

作詞者の銀色夏生さんは、「外的要因に左右されない個人的幸福を追求すること」（公式ホームページより）を本分とする女性詩人であり、写真家です。その詩には温もりや胸を打つ言葉に満ちています。

作曲家の上田真樹さんは、銀色夏生さんの透明な詩の世界に心を動かされ、爽やかで、少しほろ苦さを含む恋の歌を作ろうと思い立ったそうです。そして彼女の詩集から選び出したいくつかの詩に曲を付け、男の子の恋心をテーマにした男声合唱曲を作曲しました。男の子のひたすらの恋へのあこがれ、ためらい、不安、臆病。女性詩人と女性作曲者により、男の子の複雑な恋への想いを、優しいまなざしで捉えた作品です。

少年はいつまでも、恋とは何かの答えを求めて「終わりのない歌」を歌い続けていくことになるのでしょうか。合唱団員は、はるか昔、遠い記憶の中で起こった我が心のざわつきを思い出しながら歌うことにします。

1. 「光よ そして緑」

素敵で女性とめぐり会ったようです。光はまっすぐに進むのに、僕は素直に気持ちを伝えることができません。写真家でもある銀色夏生さんは、詩集で竹林に光が差し込む写真を添えています。その光は、進み切れない二人を遊んでいるようにも思えます。

2. 「月の夜」

月が輝き、星の瞬く夜空の下には二人しかいません、二人だけの静寂な世界のなかで、通わせあう心と心。

3. 「強い感情が僕を襲った」

二人の恋に衝撃が走ります。激しいリズムと変拍子の中で、少年の戸惑いと切なさが訴えられます。

4. 「終わりのない歌」

破れた恋。心の支えを失った少年はどこかに助けを求めています。抛り所なく、うつろに、しかし切実な少年の声が聞こえます。

5. 「君のそばで会おう」

恋することに臆病だった少年は、この恋を終わらせないことを決めます。たくさんの心の移ろいを経て、きつとまた、君のそばで会うことをひたすら祈ります。少年の決意でしょうか。組曲の最後らしく「力をください／気持ちをください／終わりのない歌をください」と強烈に歌いあげます。

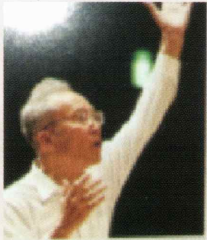
[文責 海谷 叔伸]

◇指揮者・演奏者プロフィール



海谷 叔伸（南漣会合唱団／指揮者）

1977年（昭和52）年大阪市立大学理学部卒。大阪府立旭高校音楽部指揮者を経て大阪市立大学グリークラブ指揮者。大学卒業後は、長らく旭高校音楽部OB合唱団の混声合唱団コールAOで指揮・合唱活動を行い、2016年（平成28年）より南漣会合唱団に指揮者として参加する。邦人組曲・黒人霊歌・日本唱歌・J-Popsなどを得意とし、宗教曲・ジャズ・ブルースをこよなく愛する。



宮内 泰（南漣会合唱団／指揮者）

大阪市立大学在学中、グリークラブの指揮者であった。セカンドテナーだった。卒業後は、中学校の教師として、吹奏楽の顧問として、指導した。2014年より、南漣会合唱団の指揮者を務める。多田武彦、松下耕、佐藤眞、木下牧子、黒人霊歌、世界の民謡、中島みゆきの曲などを指揮してきた。Jazzやラテン音楽、ポピュラー音楽（尾崎豊など）、中世音楽にも興味を持っている。アカペラ作品は、特に好き。



日吉 健人（大阪公立大学現役学生と有志／指揮者）

約2年間学生指揮者として部員を引っ張って来た。合唱以外の音楽も嗜んでおり、そこで得た幅広い知識を団内でも生かしてくれる。また、地理や政治、鉄道や写真など多くのことに対して知見が広く、いつも感服させられる。時たま合唱の指導の際にそれらを比喻として利用する。そんな彼が作る合唱は、のびやかで自由なものであると同時に細部まで計算されている。最後に、彼は神出鬼没である。明日は、あなたの隣に居るかもしれない…。



石幸 千照（南漣会合唱団／ピアニスト）

大阪芸術大学を学費全額免除生として卒業。同大学芸術専攻科修了。卒業時、演奏学科研究室受賞。卒業演奏会、関西新人演奏会に出演。第1回大阪国際音楽コンクール入選。1999年秋期特別コースにて、A.イエンナー氏に、2001年マタイザー・ゾンマー・アカデミーにてG.ルードヴィッヒ氏に師事。これまでに、故岡坂恭子、U.シュニーベルガー、平井令奈の各氏に師事。2004年ジョイントリサイタル開催。2005年関西フィルハーモニーオーケストラと協演。2006年ロシアにて国立アカデミーオーケストラと協演。大阪芸術大学伴奏要員を経て、現在関西女子短期大学非常勤講師、NHKコールマドリガル、エトワールかしわら、女声合唱団ソルシェールのピアニスト。南漣会合唱団を2000年よりピアニストとして支える。全日本ピアノ指導者協会会員。



小谷 朋子（大阪公立大学現役学生と有志／ピアニスト）

大阪音楽大学卒業、大阪教育大学大学院ならびにパリ・エコール・ノルマル音楽院修了。これまでに第23回アゼリア推薦新人演奏会優秀賞をはじめ、第9回和歌山音楽コンクール第1位、第3回長江杯国際ピアノコンクール第1位、第36回フランス音楽コンクール 同国総領事賞など受賞。エコール・ノルマル音楽院推薦演奏会、朝日推薦演奏会、なにわ芸術祭、日本ショパン協会推薦演奏会等出演。テレマン室内管弦楽団やモーツァルト室内管弦楽団とも共演。現在、常磐会短期大学幼児教育科准教授、大阪音楽大学演奏員。日本ピアノ教育連盟、日本ショパン協会関西支部各会員。



山本 恵子（司会／アナウンサー）

大阪府立大阪女子大学卒。在学中、女声合唱団に所属していたため、大阪市立大学グリークラブとの交流があり、当時、定期演奏会の司会を担当したこともある。卒業後、関西テレビ放送アナウンス業務を経て、フリーとなり、テレビ・ラジオCM、番組ナレーションを中心に活動している。また、声優やナレーターの育成にも力を入れている。

合唱団紹介

【南漑会合唱団】

《トップテノール》



客席からご覧になって舞台左端に並んでいる8名。男声合唱の最も高い音域を担っています。主旋律を任されることが多いので、一見楽なように誤解されがちですが、実はそうではありません。そもそも若い時とは違い、高音部を楽に出せる人が少ない上に腹筋は弱り肺活量も減少しているので息が続きません。対策の選択肢は次の四つ。

- ①背筋を伸ばして力任せに頑張る
- ②ファルセット(裏声)を駆使する
- ③小刻みにこっそりブレス(息つき)する
- ④シンディところは無理せず他のメンバーに頼る。

①～④を『相互扶助』の精神上で上手く使い分けるところが腕の見せどころです。トップテナーのチームワークにご注目ください。

《セカンドテノール》



セカンドは総勢9名。ステージによっては6～9名で歌います。客席の皆様からステージをご覧いただければ、ど真ん中の左の位置に立っています。我々は雄牛の様なベースの低い声や、鳥のさえずりの様なトップテノールの高い声が出せる訳でもありません。時々メロディーを担当することもあります。ほとんどはハーモニーの一番大事な役割の音を担当しています。野球に例えれば『守りの要(セカンド)』。そこに皆、誇りを持って歌っています。平均年齢は4つのパートで一番若く67.2歳です。若々しい声をお届けします。

《バリトン》



古来、数多の恋愛小説に於いて主人公の声はほとんど「豊かなバリトン」と表現されてきました。然るに、男声合唱界では、難解な音程進行や延々と続く同じ音。調和の鍵でありながら、「華やか」とか「重厚」と持て囃(はや)されるテナーやベースを支え、耐え忍ぶ毎日です。この男声合唱界の王者、要であり男の気概の体現者という本質を理解してもらえないM的喜びが今日もホールに響きます。

《ベース》



ベースのパート紹介！

こんにちは！ ベースのパートリーダーの田中彰一と申します。

ベースは現在、指揮者の海谷さんを除くと合計11名で歌います。

平均年齢がなんと74.9歳！ 4声の中で最高齢パート軍団です。後期高齢者パート寸前のメンバーですが、毎回の練習への参加率はどのパートにも負けない元気一杯の軍団です。

最大のストロングポイントは、声が大きいことで、最大のウイークポイントも声が大き過ぎることです。演奏会本番では弱点を克服し、良い演奏が出来るように練習に励んでおります！

ただ、全員、視力の衰えか、指揮者や楽譜が見えにくくなっては来ておりますが！

さて、本番はどんなハーモニーが創造出来るかお楽しみください。

【大阪公立大学現役学生と有志たち】



昨今、合唱人口の減少が全国的に課題となっています。これまでも減少傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症による学生合唱の衰退、学校教員の働き方改革のために部活動のあり方が変わっていくという動きが主な原因のようです。こうした動きに対して、全日本合唱連盟をはじめとする様々な関係団体は大学合唱の振興を働きかけているのですが、一部のユース団体等の盛り上がりはあれど、大学合唱団の全体的な底上げにはつながっていないという状況にあります。特に大阪府下においては中高生の合唱活動が近隣の府県と比較しても低迷しており、構造的に大阪府出身者が多い本学においても合唱人口は減るばかりです。

一方で、本学においては他府県出身者も交えながら合唱活動を積極的に行おうという団員もまだまだおり、そうした学生らにより現在のところ学生合唱団が4団体並立して運営されています。どの団体も人数が十分にいる状況とは言えない状況ですが、各々が個人的に協力しながら合唱文化をつないでいます。

こうした現状ではありますが、合唱をしている者としてどこかでやってみたいと思っていた「心の四季」を演奏する機会を得られましたので、ぜひ門戸を広げて団の垣根にとらわれない音楽を作っていきたいと思ったところです。まだまだ不勉強で技術が伴わないところもありますが、学生指揮者として最後に前に立つことになるこの曲をお聞きいただければ幸いです。

出演者一覧（五十音順）

【南澤会合唱団】

- ◆トップテノール 岡橋 博 神代 一徳 竇木 健一 田中 宏和 長田 幸一郎 福家 伸治
松波 謙至 森本 眞一
- ◆セカンドテノール 尾崎 納 白井 清貴 高田 達治 富増 和彦 野津 直樹 長谷部 資朗
宮内 泰 吉田 耕太郎 吉田 教昭
- ◆バリトン 井上 裕之 太田 一忠 辻 秀郎 出口 順三 花澤 光正 松井 繁明
安井 永 横田 卓郎
- ◆ベース 今道 隆夫 扇田 豊 小倉 裕 海谷 叔伸 曾家 義晴 田中 彰一
仲嶋 研一 松村 喜裕 南 良樹 牟田 岑男 和田 昭夫

【大阪公立大学現役学生と有志】

- ◆指揮者 日吉 健人
- ◆ソプラノ 岡本ゆう 成田美桜 西山美穂 平田真弓 廣谷碧美 松尾美穂
- ◆アルト 大谷内萌里 加藤優花 芝野萌衣 谷口陽平 箱嶋優吏 山谷菜穂
- ◆テノール 秋山雅紀 田中宏和 中條勝統 半田梓 富増和彦 松田悠太郎
- ◆バス 岩井遼真 呉鎮宇 川井等之 川崎敦士 坂口敏宣 白石真也
渡邊聡 吉峰陽哉

「ふるさと」

- | | | |
|---|--|--|
| 一、うさぎ追いし かの山
小ぶな釣りし かの川
夢は今も めぐりて
忘れがたき ふるさと | 二、いかにいます 父母
つつがなしや 友がき
雨に 風につけても
思いいずる ふるさと | 三、こころざしを はたして
いつの日にか 帰らん
山はあおき ふるさと
水は清き ふるさと |
|---|--|--|

【演奏会のアンケート】

本日は第23回定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございました。
今後の活動の参考にさせていただきますので、アンケートにご協力をお願い
致します。下記QRコードよりアンケートフォームにご入力下さい。

